

## 情報公開用文書(附属病院で実施する医学系研究)

(多施設共同研究用)

西暦 2022年 5月 19日作成 第4.0版

研究課題名	大腸癌切除症例の予後に関する外科治療学関連多施設共同研究(YSURG1702)
研究の対象	2000年4月から2021年3月に横浜市立大学外科治療学と関連のある施設(以下、関連施設)にて初発の原発性大腸腺癌に対し原発巣切除を受けた患者さんを対象としています。関連施設では、それぞれの施設において大腸癌データベースが存在していますので、今回はそのデータベースにある情報を対象としています。
研究目的・方法	これまでの大規模臨床試験において腹腔鏡下手術の短期成績における有用性が示され、腹腔鏡下手術は早期がんから進行がんへと適応が拡大されています。しかし、進行している病状や高難度の病状に対し、腹腔鏡下手術の適応を慎重に見極めるために、対象を初発の原発性大腸腺癌に対し原発巣切除を受けた患者さんに限定して検討を行うことで、腹腔鏡下手術の適応を明確にすることを目的としています。 この研究は、大規模な症例数が必要であるため、外科治療学関連施設が有する大腸癌データベースの情報を統合して解析、検討を行います。
研究期間	西暦 2017年 7月 27日 ~ 西暦 2026年 7月 31日
研究に用いる試料・情報の種類	本研究に用いるデータは、各施設で2000年4月から2021年3月に行われた大腸癌原発切除を受けた方の情報を用います。 年齢、性別、術前情報として身長、体重、BMI、血液検査の結果、全身の活動状態、術前併存疾患、多発癌、重複癌、大腸癌の病状および術前治療の有無などを調査します。 手術情報として、手術年月日、術式に関する情報、術後合併症、退院日、在院日数及び術後の病理検査の結果を調査します。 そのほか、術後の補助療法、再発の状況、生存に関する情報も調査します。
外部への試料・情報の提供	横浜市立大学附属病院の情報を外部に提供することはありません。
外部からの試料・情報の取得と保管	横浜市立大学外科治療学関連施設にあるデータベースから、上記研究に用いる情報の種類の項にある内容について、パスワードを設定したCD-Rを郵送で送付してもらいます。 CD-Rで送付された情報については、横浜市立大学外科治療学教室にて研究終了について報告された日から5年間を経過した日又は当該研究の結果の公表について報告をした日から3年間を経過したいずれか遅い日までの期間、特定の関係者以外がアクセスできない状態にし、研究責任者の責任の下で個人情報等について厳重に保管・管理します。
研究組織	共同研究機関(データベースとして既存情報の提供を行う研究施設)及び責任者 横浜市立大学附属市民総合医療センター 沼田 正勝 神奈川県立がんセンター 塩澤 学

## 情報公開用文書(附属病院で実施する医学系研究)

(多施設共同研究用)

神奈川県立足柄上病院	鈴木 喜裕
秦野赤十字病院`	大佛 智彦
平塚共済病院	谷 和行
済生会横浜市南部病院	虫明 寛行
横浜南共済病院	佐伯 博行
藤沢湘南台病院	五代 天偉
上白根病院	村上 仁志
三浦市立病院	小澤 幸弘
国際医療福祉大学熱海病院	高村 卓志
兵庫県立がんセンター	古谷 晃伸

本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話またはFAXでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。

### 問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9

横浜市立大学附属病院 外科(外科治療学) (研究責任者) 風間 慶祐

電話番号：045-787-2800(代表) FAX：045-786-0226